



真龍小便り

【学校の教育目標】

- ☆心と体をきたえる子
- ☆美しい心をもつ子
- ☆考えて行動する子
- ☆生き生きと学ぶ子

No. 6 令和元年7月25日発行

『わくわく』と『どきどき』の夏休みを

校長 武田 昌彦

運動会という大きな行事を通して、子ども達が大きく成長した前期第1ステージが今日で終了しました。真剣な取り組みには収穫が多いものです。自ら進んで、今やらなければならないことと向き合っている行動を見ていて、嬉しく思っていました。我が家でも「自ら行う！それが結果を大きくするんだよ！」と言っています。しかし、その一方で「言われる前に動け！」と叱ってばかりです。理想と現実の違いは、仕事上見守ることの多い私ですが、我が子のこととなると叱ることが多くなります。「マイナスの言葉は心にも体にも良くない。」と何度となく言わせていただきました。分かってはいても、現実ではたくさん言ってしまう。さらに、そういう言葉は「良くない」「だめだ」と、これもマイナス言葉だったことに気がつきます。子どもにやらせたり、叱ったりせずに、「意欲を持たせて自主的に行動させる」ことの大切さを分かっているながらも、実際にプラス言葉の生活をするのなんと難しいことか…。マイナス言葉の生活は負の連鎖が続き、止まることを知らず、どんどん続いてしまいます。意識しないとプラス言葉は出てこないのです。意識を変えることから私も始めています。みなさんも始めてみましょう。

勉強や運動などで考えたとき、「これを毎日やると、〇〇ができるようになります。」と言われてがんばり始めても、最後までやらずにあきらめてしまう人がほとんどです。人は迷うのです。自信がないのです。世の中の人のほとんどがそうなのかも知れません。「これをやると成果が出ます。」と言うような画期的な特効薬のようなものはありません。あつたとしてもとても怪しいものだと思っていました。しかし、ある時、『頭が良くなる方法』というタイトルを目にしました。これも眉唾物かと思いましたが、読んでみると…。「脳細胞を活性化する」という内容でした。それは脳内物質7つの内、ドーパミン（脳内伝達物質）を出すということでした。これが多くなると脳内のネットワークが多くなり、考える力が強くなるのだそうです。つまり、脳が鍛えられ、脳が元気になると言うことなのだそうです。では、どうすればいいのか。それは「わくわく感」と「どきどき感」だそうです。初めてのことに挑戦して不安で「どきどき」。楽しみで「わくわく」。これが脳に刺激を与えるのだそうです。やはり、「自らの挑戦」が良いようです。そういえば、子ども達は遠足や運動会の日には早くから元気に起きて「ボー」としていません。「わくわく」が脳を元気にしているのですね。

明日から夏休みに入ります。今までに体験したことがないことや難しい事に挑戦して「わくわく」や「どきどき」たくさん手に入れてほしいと思います。子ども達は、ご家庭へ、地域へと帰っていきます。最高の夏休みになるようご家庭での配慮をお願いします。この休みが、事故無く、8月20日（火）からの前期の第2ステージ開始時に、全員と笑顔で会えることを楽しみにしています。

8月の主な行事	
1	木 友好都市子ども交流事業 村山市訪問(7/30~8/2)
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木 ださんこ☆子ども全道サミット
9	金
10	土
11	日 山の日
12	月 振替休日
13	火 学校閉庁日
14	水 学校閉庁日
15	木 学校閉庁日
16	金
17	土
18	日
19	月 夏季休業最終日
20	火 前期第2ステージ開始 朝会(講話)
21	水 街頭指導 水泳学習(2・6年) 夏休み作品展(~29日) スクールカウンセラー来校日
22	木 運動の日
23	金 短縮日課 水泳学習(4・5年) 心の劇場:劇団四季(6年) クラブ
24	土
25	日
26	月 時数確保日
27	火 短縮日課 5年宿泊研修(~28日)
28	水 読み聞かせ
29	木 5年回復休業日
30	金 短縮日課 水泳学習(1・3年) 委員会
31	土

※行事は現時点での予定です。各学年便りでも改めてご確認ください。



夏休み(7月26日~8月19日)

夏休み期間中も、土曜日、日曜日、祝日、学校閉庁日以外は、教職員が勤務しております。ご用の際は、いつでもお気軽にご連絡ください。

ステップアップ教室(7月26日・29日)

今年は、140名の児童が参加します。また、28名もの真龍中学生がサポートに来てくれることになりました。小中連携の取り組みとして行っていますが、こんなにも多くの中学生が来てくれることに驚いています。
~遅刻や欠席の場合は、学校までご連絡をお願いします。~

◆厚岸港まつり◆



7月5日の港祭りの「市中パレード」に、4年生と5年生が厚岸音頭の踊り手として参加してきました。沿道でたくさんの方が観覧する中で、約1時間可愛い手踊りを披露しました。

また、6日と7日は、それぞれの地域の一員としておみこしを担いだり、獅子になったりするなどして、お祭りに参加した子がたくさんいたようです。地域のお祭りに進んで参加することは、郷土愛を強めることにつながります。とてもいい伝統ですね。

◆いじめ防止宣言◆

5年生と6年生が参加する予定だった『社会を明るくする運動』の啓発パレードは、あいにくの天候で児童の参加が中止になってしまいましたが、6年生の石川依吹君が児童代表として、開会式で「いじめ防止の宣言」をしました。この宣言をどの子も実現できる学校をめざしていきます。

いじめを絶対許さず、みんなが楽しく学校生活を送り、笑顔あふれる毎日にするために、僕たちは次のことを宣言します。

- 一つ 僕たち児童はいじめをしません。
- 一つ 僕たち児童はいじめを見て見ぬふりをしません。
- 一つ 僕たち児童は友達を大切にします。

僕たちは、みんなが笑顔でいられる学校を守っていきます。

◆地引き網体験&磯採取◆



7月2日に厚岸翔洋高校からの招待を受け、3年生が地引き網体験と磯採取をしてきました。カニやアサリを見つけては大喜びし、珍しい魚には興味津々の子ども達でした。近くに海がある厚岸に住んでいながらも普段なかなかできない貴重な体験をさせていただきました。地域を調べる学習が中心の3年生にとって、とても良い学習の機会になりました。厚岸翔洋高校の皆さんに感謝です!!

◆真龍おはなし隊◆



今年度は、OBの方3人を含む12人の方が「おはなし隊」に登録してくださいました。7月上旬の読書週間に、各学級に2回ずつ読み聞かせに来てくださいました。「おはなし隊」の方は、読み聞かせの他に、図書館の整備のお手伝いもしてくださっています。読書環境の充実を図るこの活動は、今年で7年目になります。「おはなし隊」の活動に興味のある方は、学校までお問い合わせください。

真龍子ども見守り隊

この度の「真龍子ども見守り隊」の活動に対しまして、93名の保護者の方と地域の方にご協力していただけることになりました。下のような表示物をお子さんを通して23日に配付しております。

一人でも多くの方にご協力いただき、地域のあちこちでこの表示物が見られることにより、より強い犯罪の抑止効果になることが期待されます。

追加の申込みも大歓迎です。随時、学校までお知らせください。



北海道教育委員会からの
お知らせ

子ども相談支援センター
相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)



●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00~16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。

エコリサイクル標語 入賞! おめでとう!!

エコリサイクル標語に取り組んだ6年生の作品の中から、見事『銀賞』に入賞しました。二人は釧路市で行われた表彰式で表彰を受けました。

- ☆エコ活動 それは地球の ボランティア (桑田 颯太郎君)
- ☆ペットボトル 16個あつめて 作業着に (高島 蒼衣さん)



『よるくま』 【酒井駒子 偕成社発行】

子どもたちはみんな、自分のお母さんが大好きです。少しでもお母さんの姿が見えなくなると不安になります。「ぼく」のところに夜中にやってきたくまの子、「よるくま」も同じです。目が覚めたらお母さんがいなかったと泣いています。「ぼく」と「よるくま」は、お母さんを探しに行くことにします。ところが、お母さんはどこにもいません。悲しくなった「よるくま」が泣くと、あたりはどんどん黒くなっていき、最後には真っ暗に! 「ぼく」は、流れ星に助けを求めますが…。さあ、二人はお母さんに会えたのでしょうか?

酒井駒子さんの描く、夜だけど、どこか明るくてあたたかみのある絵と、困ったり泣いたり、喜んだりする「よるくま」の表情のかわいらしさに夢中になる絵本です。夜寝る前に、お子さんに読んであげる事をおすすめします。きっと幸せな気分が眠れますよ。厚岸情報館と学校図書室に所蔵があります。

<担当:学校司書 小島郁子>